

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●武豊騎手がJRA通算4200勝を達成

8月9日(日)の1回札幌6日・第7レースではドウラモットが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、中央競馬史上初となるJRA通算4200勝(2万2487戦目)を達成しました。デビューから数えて33年5か月9日での記録達成となります。

●2020年上半期JPNサラブレッドランキング発表

今年上半期(1月1日から7月31日)の『JPNサラブレッドランキング』が発表されました(単位はポンド/暫定レーティング)。3歳・芝は皐月賞と日本ダービーの二冠を達成したコントレイル(122)が首位となり、牝馬首位は桜花賞とオークスの二冠馬デアリングタクト(115)。3歳・ダート部門の首位はユニコーンSを制したカフェファラオ(113)で、関東オークス勝ち馬レーヌブランシュ(102)が牝馬トップとなりました。4歳以上・芝ではヴィクトリアマイル圧勝のアーモンドアイ(124)が首位、宝塚記念を勝ったクロノジェネシスと金鯱賞のサトウルナーリアが第2位タイ(120)。4歳以上・ダートは帝王賞を勝ったクリソペリルとフェブラリーSを差し切ったモズアスコットが首位(118)で並び、牝馬ではエンプレス杯1着のアンデスクイーンとスパーキングレディーC1着のファッシュニスタがトップ(104)となっています。

●レパードSはケンシンコウがコースレコードで勝利

8月9日(日)の2回新潟6日・第11レースとして行われたレパードS(GⅢ)ではケンシンコウ(牡3歳/美浦・小西一男厩舎)が勝ちタイム1分49秒2(不良)で勝利しました。これは2009年の麒麟山特別でトランセンドが記録した1分49秒5(稍重)を0秒3更新する、新潟ダート1800mのコースレコードとなります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マテラスカイがクラスターC(盛岡)をレコード勝ち

クラスターC(JpnⅢ、8月10日、盛岡、1200m)は、2番手を進んだ1番人気のマテラスカイ(武豊騎手、牡6歳、父スバイツタウン)が、逃げ粘る3番人気のヒロシゲゴールドをゴール前で捉え、1分08秒5のレコードタイムで一昨年のプロキオンS以来の勝利を収めました。2番人気のトップウイナーは4着、ショームは6着、アユツリオヤジは7着に敗れています。

●サマーチャンピオン(佐賀)はサヴィが逃げ切り重賞初制覇

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月12日、佐賀、1400m)は、先手を取った4番人気のサヴィ(和田竜二騎手、牡6歳、父ストリートセンス)が、3、4コーナーで3番人気のメイショウテンスイに並ばれながらも半馬身差で競り勝ちました。出遅れた1番人気のコパノキッキングは3着、2番人気のヤマニンアンプリメは4着でした。なお、ヒラソールは本馬場入場後に放馬したため、競走除外となっています。

●札幌日経オープンでシンボ(北海道)が4着と健闘

札幌日経オープン(L、8月8日、札幌、芝2600m)には北海道所属馬3頭が挑戦。前走で2勝クラスを勝ったばかりの格上挑戦ながら、3頭の中では最も上位の7番人気となったシンボは、序盤2番手から一時は6番手まで位置取りを下げるも、再び差を詰めて3着馬とはクビ差の4着と健闘しました。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1トラヴァーズS~ティズザローが重賞4連勝

8月8日に米国ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2000m)は、M.フランコ騎手を背に先行したティズザロー(牡、父コンスティチューション、B.タッグ厩舎)が最終コーナーを待たずして先頭に躍り出ると、最後は流す余裕を見せながら5馬身半差で快勝しました。ティズザローはこれで今年2月のG3ホーリーブルS(ダート1700m)、3月のG1フロリダダービー(ダート1800m)、6月のG1ベルモントS(ダート1800m)に続く重賞4連勝。コロナ禍にあって9月5日に延期されたG1ケンタッキーダービー(ダート2000m)の最有力候補と見られています。

●G1テストS~ガミンがG1連勝

上記G1トラヴァーズSの1レース前に行われたG1テストS(3歳牝、ダート1400m)は、J.ヴェラスケス騎手が手綱を取ったガミン(父イントゥミスチーフ、B.バファート厩舎)が逃げて7馬身差の圧勝。18馬身差をつけて優勝した6月のG1エイコーンS(ダート1600m)に続くG1連勝としました。